

トリチウム汚染水海洋放出方針を撤回させよう！ 学習・討論会

「宝の海」を汚すな！

日時：2022年3月19日（土・休日）午後1時半～4時半

場所：ドーンセンター 中会議室（地下鉄谷町線&京阪線 天満橋駅 徒歩10分）

昨年4月、政府・東電は高濃度のトリチウムなどを含む放射能汚染水であるALPS処理水の海洋放出の方針を決定しました。来年4月から延々と30年以上にわたって放出する計画です。そのために1kmの海底トンネルをつくる等の工事に、6月にも着工しようと準備を着々と進めています。

また、被害を風評被害に限定し、安全・安心を強調し、政府を挙げて「あらゆる対策を行う」として「海洋放出決定」ありきで突き進んでいます。福島県漁連・全国漁連、生産者・観光業、福島県の自治体をはじめ多くの反対の声を聞く耳を持たず、一方的で強引なやり方であり許せるものではありません。漁業者との「重い約束」を破り、仕事場である豊かな海を汚す権利など誰にもありません。



私たちは、これまでも福島と全国の皆さんとともに、反対署名を広げ、政府交渉を重ねるなど、トリチウム汚染水の海洋放出に反対して取り組んできました。今回の学習討論会では、海洋放出の方針撤回を求める運動をさらに強めるために、海洋放出の問題点、反対の根拠を、福島での反対運動の様子も交えながら報告し、皆さんと議論を深めたいと思います。また来月に取り組む予定の政府交渉に

向けて何が争点なのかを公開質問書（案）に基づいて議論したいと思います。

ふるってご参加下さい。

テーマ1：トリチウム汚染水海洋放出は何が問題か

テーマ2：対政府交渉に向けて

<共催>

チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西 若狭連帯行動ネットワーク ヒバク反対キャンペーン

問合せ：072-253-4644（救援関西・猪又） cherno-kansai@titan.ocn.ne.jp